

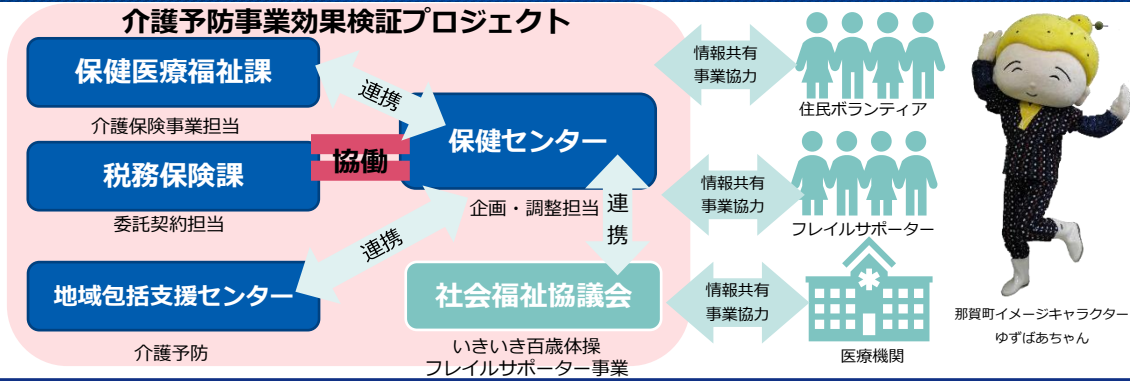
徳島県那賀町 一住民と共に取り組み ともに創る一体的実施

市の概況 (令和7年4月1日時点)

人口	6,934人
高齢化率	53.5%
後期被保険者数	2,356人
日常生活圏域数	1圏域



実施体制



取組の経緯

- 国保加入者に対し医療費・介護費の適正化を目的に健診受診率の向上と生活習慣病の重症化予防に取り組んできたが、後期高齢者の保健事業として移行継続できていなかった。
- 後期高齢者の健診・医療・介護データ分析により健康課題を明確にし、予防の視点で母子保健からのライフコースアプローチや国保から後期へと継続した保健事業を行うことは必要だった。また、介護予防事業と連携してデータ分析・事業を実施、評価することは介護費削減に向け必須であったため取組を開始。

ポイント▶▶▶ 企画調整・関係機関との連携

● 介護予防事業効果検証プロジェクト

「わしらがやいよる (やっている) いきいき百歳体操は町の役に立っとんか」とひとりの住民に問われたことをきっかけに、結果を周知しなければ継続した実践にはつながらないと考え、住民主体となって実施している事業の効果検証を行うためプロジェクトを開始。



検証結果により「効果がある」場合は事業の普及啓発を行い継続。「効果がない」場合は事業の見直しをする必要があると考え、介護予防・一体的実施関係者たちに声をかけそれぞれの担当する事業実態の情報を共有し実施している。

本プロジェクトで分析した「体操参加者には骨折患者が少ないこと」等の検証結果を広報誌に掲載し普及啓発した。今後は介護費の高騰を抑制するため、各データ分析や新規認定者の原因分析等を行う。

● 地域の健康課題の分析

KDBの情報等と地区ごとの健診データを重ね地域課題を分析した結果、糖尿病、高血圧、肥満が重症化していることが分かった。

ハイリスクアプローチ

● 糖尿病性腎症

地区担当の保健師と連携して保健指導を実施。事例検討会やケア会議の場を活用し、かかりつけ医と連携して重症化予防に努めている。必要に応じてかかりつけ医等からの診療情報提供等をいただく。

● その他生活習慣病

管理栄養士がCKD管理台帳 (国保から継続した管理台帳) を管理し、管理指導している。食事記録からの減塩指導をはじめ水分管理等生活指導を切れ目なく実施している。

※全ての取組区分を実施しているが、特に力を入れている取組を記載。

ポピュレーションアプローチ

● 健康教育・健康相談

いきいき百歳体操会場の5か所で2回ずつ開催。1回目は保健師による「脳卒中予防についての話」と、管理栄養士による「10の食品群2週間チェック表」の実態調査と栄養指導を実施する。2回目は「10の食品群2週間チェック表」に基づき管理栄養士が個別の栄養相談を行い、介入前後の食生活の変化等を見る。個別にグラフ等を用いながら評価し、年度末に本人にフィードバックしている。健康相談で実施した栄養チェックの結果は、地区ごとにデータを積み上げ、地区の健康課題に反映している。

※フレイル状態の把握も実施しているが、特に力を入れている取組を記載。

徳島県那賀町 一住民と共に取り組み とともに創る一体的実施

事業結果と評価概要（令和6年度結果）

● ハイリスクアプローチ

	対象者	介入者	評価指標	状況（評価結果等）
低栄養	7	5	・BMI20以下の者のうち体重維持できている者の割合の変化	・介入後20%に変化あり
口腔	6	5	・質問票④⑤で口腔機能低下に該当する者の割合の変化	・介入後変化なし
身体的フレイル	15	12	・質問票⑧⑨で身体的フレイルに該当する者の割合の変化	・介入後83.3%に変化あり
糖尿病性腎症 ①コントロール不良者 ②治療中断者	①25 ②100	①8 ②22	①健診結果がHbA1c7.5%以上の者の割合の変化 ②健診受診勧奨後の受診率 ②治療中断者のうち健診または受診につながった者	①介入後12.5%に変化あり ②受診率59.1% ②治療中断者のほとんどが通院・治療継続できていた
その他の生活習慣病 ①コントロール不良者 ②治療中断者 ③腎機能不良未受診者 ④その他	①30 ②40 ③20 ④5	①17 ②58 ③12 ④4	①Ⅱ度高血圧以上の者の割合の変化 ①Ⅱ度高血圧以上の者のうち医療につながった者 ②健診受診勧奨後の受診率 ③腎機能不良未受診者のうち医療機関の受診につながった者 ④心房細動の未治療や治療中断者のうち受診や治療につながった者	①介入後82.4%に変化あり ①治療できている者：88.2% 未治療者：11.8% 未治療者も受診につながっている ②受診率53.4% ③④介入者すべてが医療機関を受診できていた
健康状態不明者	35	22	・健診受診した者の割合 ・医療・介護サービス等が必要と判断される者のうち、医療・介護サービス等につながった者の割合	・健診受診した者の割合：18.2% ・医療・介護サービス等につながった者の割合：100%

● ポピュレーションアプローチ

	通いの場の数 (実数)	参加者数 (累計)	状況（評価結果等）
健康教育・健康相談	10	118	質問票（No.8転倒した人）は18人から14人に減少した
フレイル状態の把握	49	527	体成分測定結果でサルコペニア肥満者5名に対し栄養指導を実施した

- ハイリスクアプローチの高血圧の取組については、対象者に食事記録をつけていただき、食事の傾向等を伺いながら丁寧に聞き取りを実施。醤油やソースをかける量が減ったと感想をいただいている。
- ポピュレーションアプローチのフレイル状態の把握については、町内53か所で開催する「いきいき百歳体操」において、フレイルサポーターがフレイル状態にある者を把握する。



フレイルサポーター活動の様子



課題・今後の展望

- 被保険者の実態把握のために健診受診率を向上させていく。
- 今後も高齢者の特性に応じたフレイル予防に何が効果的かを関係機関と検討していく。